

0JTトレーナーがぶつかる 5つの本質的課題とは？

1. 本企画概要の問題意識(弊社がよくお聞きするOJTトレーナーの声)

弊社が多くの企業様を支援する中で、
よくお聞きするOJTトレーナーの声を記載します。

1.教えるなんて初めてで、
どう接していけば良い
のか、わからない…

2.新人の成長を
支えるなんて、自分には
できそうにない…

3.正直自分の仕事で
手一杯で、しっかり
見てあげられる時間が
ない…



4.なぜ自分が
OJTトレーナー
なのだろう…
他にもいるはずなのに…

5.OJTをどう進めるのか
正直イメージが
あんまりついていない…

では、上記の悩みを解決するために必要な力とは？

2. OJTトレーナーがぶつかる5つの本質的課題(≡弊社プログラム特徴)

OJTトレーナーの指導・育成が上手く機能しない時には、
主に以下5つの本質的課題があると考えております。

指導・育成の

1. スキル が無い	指導・育成スキルが不足している。 ⇒指導・育成スキルの教育を ⑤
しかし、現実的に、指導・育成スキルを教育するだけでは上手くいかないことが多い。 さらに本質的4つの課題と向き合う必要がある。	
2. 自信 が無い	特に真面目で責任感が強い人ほど、自信が無い傾向にある。 自信が無いことで、折角学んだ指導・育成スキルも活かせない。 ⇒「教えるプレッシャー」から、「共に成長のマインド」へ ③
3. 時間 or 余裕 が無い	自分自身も忙しく、その中で指導・育成に割く時間 or 余裕が無い。 それにより、折角学んだ指導・育成スキルを活かす場が少ない。 ⇒自らが忙しい中での対策検討を ④
4. 前向きさ が無い	そもそもなぜ自分がトレーナーをやるのか、あまり腑に落ちていない。 (≡最近はそこまで多くないような気がしますが、ある一定数はいる印象) ⇒トレーナーをやる意味・意義の明確化へ ②
5. 社内ノウハウの共有 が無い	折角OJT制度を数年導入しているにも拘わらず、 社内の指導・育成ノウハウが受け継がれていない。 ⇒先輩トレーナーたちの苦勞と工夫(≡ノウハウ)の蓄積を ①

3. プログラム概要案

<事前にやること(案)>

先輩トレーナーへのアンケート依頼

(例:トレーナーとしての苦悩と工夫、やりがい・達成感等)

⇒社内ノウハウの共有 ①

プログラムに
反映

半日研修(9:00-13:00 or 13:00-17:00)

◆導入

1. トレーナーの意味・意義(≡前向きさの醸成) ②

講義+個W・GW:「トレーナーとしての意味・意義とは？」

2. トレーナーとして大切なこと 姿勢(≡プレッシャー低減 or 自信の向上) ③

講義+個W・GW:「責任感が強く、真面目なトレーナーが陥りがちな思考」
「トレーナーとしての大切な姿勢とは？」

3. トレーナーとして大切なこと 時間の対策 ④

講義+個W・GW:「自分の業務と指導・育成の両立のためには？」

4. トレーナーとして大切なこと スキルの獲得 ⑤

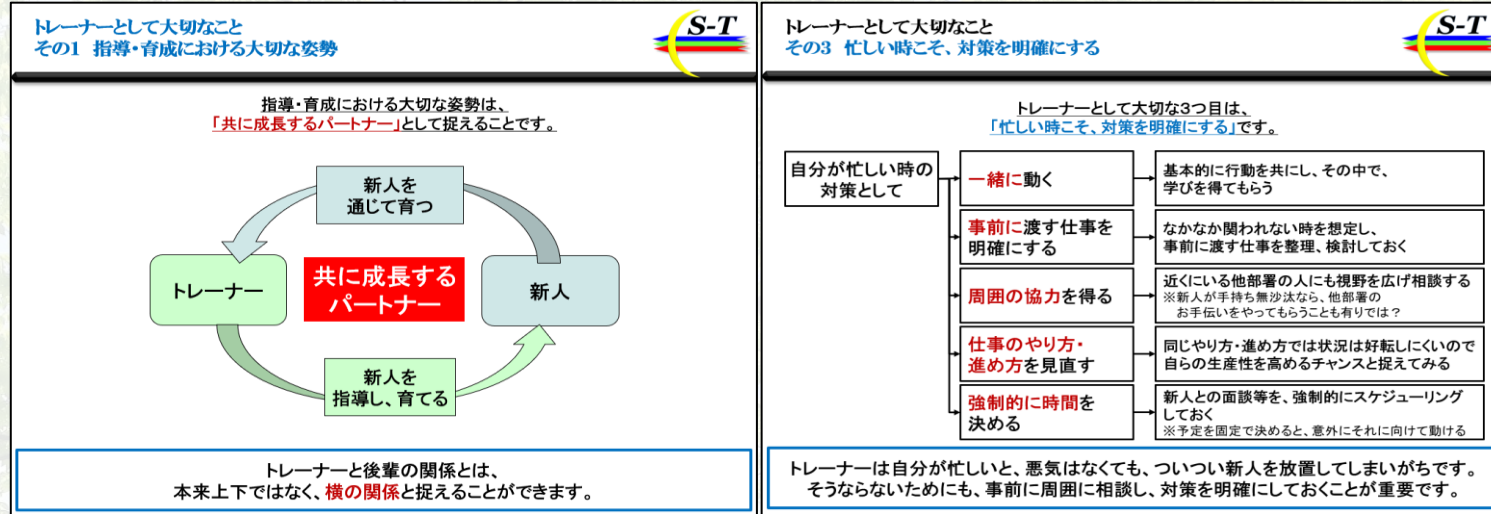
講義+個W・GW:「トレーナーとして大切な向き合い方、関わり方とは？」

5. まとめ

個W・GW:「学びの整理 & 質疑応答」

4. プログラムご参考

その1 本質的課題に即した学びを



その2 先輩トレーナーの苦悩・工夫(≡ノウハウ)を活きた学びへ

トレーナーを経験し、プラスに感じたこと (嬉しかったこと、やりがい、自身の学び・気づき等) について教えてください。 ・自分の苦手や理解ができていなかったことなどにも気づくことがある。 ・人に説明しながら自分の理解度を高められる。 ・今まで忙しくて振り返る時間がなかったが、教える中で、これまでなんとなくやってきた業務を振り返ることができた。 考え、教え、悩む、トレーナーこそ、最高の成長機会！	トレーナーとして、指導において、あなた自身が、心掛けていることや工夫があれば教えてください。 ・指導や注意の仕方に気を付ける。勤務時間や勤務状況を気にする。たわいも無い会話をする。 ・不満や意見など、何でも言いやすい環境を作り、どんなネガティブな相談も聞き入れるようにした。なるべく強い言葉は言わない。 ・とりあえず、やってくれた事に関してはお礼を言う。 ・下に付いているという意識ではなく、一緒に戦っている仲間という思考を持つ。
---	--

5. 最後に

「社員にもっといきいきと働いてほしい」
「真の意味で活躍する社員を増やし、定着させたい」

今の**本気の**取り組みが、未来を変える

株式会社セルフ トランセンデンスまで

URL： <https://www.self-t.co.jp>

※疑問・質問、またはご依頼に関しては、
弊社から別途回答、あるいは、ディスカッションの機会を
設けさせていただきますので、self-t@self-t.co.jpに
お問い合わせください。